

その他の取組



交通安全教育報告書

取組名	年間を通した交通安全教育	分類	その他の取組
取組の特徴	年間を通して計画的に行う交通安全教育活動		
学校名	大分県立国東高等学校		
取組の概要			
<p>1 指導の概要</p> <p>年間を通して本校では、交通安全教育・指導を計画的に行っている。本校独自の活動とは言えないが、ある一定の効果は表れていると考える。</p> <p>また、生徒が参加する活動内容もあり、生徒自ら交通安全について考えるよい機会にもなっている。</p> <p>2 指導内容</p> <p>① 登校交通安全指導（毎月20日）</p> <p>登校指導（交通安全）を実施し、その後、通学状況等に関する報告書を提出してもらおう。特に注意する点があれば、職員会議で報告し、注意徹底を図る。</p> <p>② 自転車車体検査（年2回）</p> <p>主・副担任によって放課後を使って、一斉に違反状況はないかの検査を実施する。違反車があれば、その場でチェックし、指導を行う。</p> <p>③ 下校交通安全指導（学期1回）</p> <p>下校時に交通安全指導を実施する。自転車については、止めて注意指導はできるが、バイクに関しては、走行を止めて指導することはできないので、状況を確認し、その後職員会議などで報告する。場合によっては、バイク通学生集会を実施し、注意喚起する。</p> <p>④ 交通安全講話教室</p> <p>国東警察署・本田技研工業株式会社安全普及本部の方々に依頼し、講話と実技を交えて自転車走行における安全教室を実施する。</p> <p>⑤ バイク通学生集会（適時）</p> <p>バイク通学での違反行為や事故など発生した際、その都度、バイク通学生集会を実施する。</p> <p>⑥ バイク交通安全実技講習会（11月）</p> <p>国東自動車学校の協力で、バイク運転の実技講習会を実施している。毎年60名近くの生徒が参加し、正しいバイクの運転を身につけている。その際に、違反バイクはないか検査も行う。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登校指導・交通指導	分類	その他の取組
取組の特徴	全職員の輪番による市内3ヶ所での登校指導		
学校名	大分県立杵築高等学校		

取組の概要

1 ねらい

- 交通安全意識を高め、交通ルール、交通マナーを遵守させる。
- 気持ちの良いあいさつを心がけさせる。

2 日時

- 毎日 7:25 ~ 7:50

3 場所

- 宗近中学校前の交差点
- 杵築駅横の通学路
- 中平門（裏門）の3ヶ所



4 指導事項

- ① 自転車の並進注意
- ② 車両用の信号を守る
- ③ 追い越し禁止
- ④ 自転車は左、歩行者は右
- ⑤ 通学マナー、挨拶
- ⑥ 身だしなみ

5 効果

- 昨年度頻繁にあった杵築駅からの細い路地上での苦情連絡がなくなった。現在、生徒は杵築駅から八坂小学校前までの間、きちんと一列で通学し、信号においても一列での待機を守っている。
- 中学校前の信号において、高校生の自転車通学生が赤信号を止まらないとの苦情連絡を受け、実施している。同時に自転車のルールについて教室掲示や呼びかけを行い、登校指導とともに徹底を図った。
- 登校指導を行う際に、朝の挨拶運動も同時に行い、地域の方に進んで挨拶を行う姿勢も構築された。
- 中学校との連携も図れている。

交通安全教育報告書

取組名	交通安全啓発活動	分類	その他の取組
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部通信「真摯」の発行 ・無事故無違反の掲示板の設置 		
学校名	大分県立杵築高等学校		

取組の概要

1 ねらい

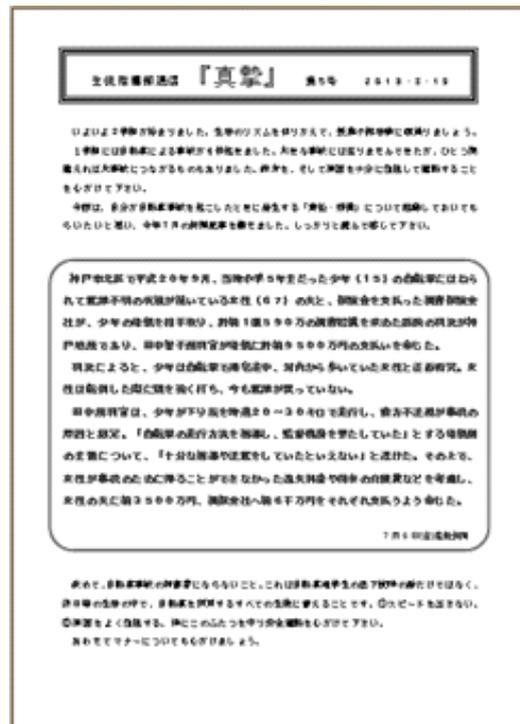
- 交通事故・交通違反防止のための注意喚起を行い、生徒の交通安全に対する意識高揚を図る。

2 方法

- 生徒指導部による生徒指導部通信「真摯」を発行。
生活指導や交通安全に関しての情報や注意事項を連絡し、生徒の交通安全に対する意識の高揚を図る。
- 無事故無違反掲示板の設置。
無事故無違反について自分たちで意識させるため、掲示板を昇降口に設置し、実際の日数を掲示することにより生徒意識の高揚を図る。

3 効果

- 「真摯」については欲張らず内容を精選し、字数を少なくすることで、生徒が読んでくれるようになった。今後もポイントを絞って読んでみようと思う生徒指導部通信にしていきたい。
- 生徒の会話の中に掲示板について話題に上がることもあるようで、気にとめている生徒も多い。有効活用していきたい。



交通安全教育報告書

取組名	部活動臨時集会及び特別登校指導	分類	その他の取組
取組の特徴	部員が交通ルール違反をした部が全員参加		
学校名	大分県立大分豊府高等学校		
取組の概要			
<p>1 ねらい</p> <p>① 本校は自動車過密地域にあり、交通事故が多い。(平成24年度30件)</p> <p>② 9割の生徒が部に所属しているなど部活動が盛んである。</p> <p>③ 交通ルール遵守精神を育てる。</p> <p>④ 部活動生は帰宅時間が遅く交通事故に遭う可能性が高いので、安全意識の高揚を目指す。</p> <p>2 方法</p> <p>① 交差点を横切るなど交通ルール違反を犯した部を対象に実施する。</p> <p>② 違反発覚後に放課後、対象部全員に臨時集会を実施し、生徒指導主任より説諭する。(貴重な練習時間がなくなる)</p> <p>③ 早朝(7:15~7:40)に登校指導を実施し、全校生徒に交通安全を呼びかける。(他の部活動生に対して、多大な効果が見られる)</p> <p>3 効果</p> <p>① 部員が部のために行動するなど、部の結束力を高める。</p> <p>② 交通ルール遵守精神が涵養できる。</p> <p>③ 交通事故が減少した。(今年度14件、昨年同期28件)</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登下校指導	分類	その他の取組
取組の特徴	教職員による登下校指導		
学校名	大分県立三重総合高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1ヶ月に6回登校指導を行っている。 1ヶ月に6回下校指導を行っている。 ○ 実施時間 7時20分から7時50分までの30分間 <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 徒歩で通学する生徒と自転車で通学する生徒の安全確保がねらいである。 ○ 交通安全教育にとどまらず、気持ちのよい挨拶ができるようになってもらいたいという願いもある。 <p>3 活動内容</p> <p>(登校指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 三重町駅・三重タクシー前・商店街入口・市場ロータリー・ローソン前・肝煎交差点の6カ所に教職員が1名ずつ立ち、指導している。 ○ 横に広がって歩いていないか・歩き携帯はないか・指定された通学路を通っているか等をチェックして指導している。 ○ 自転車については交通ルールを守って、所定の通行区分を守れているか等をチェックして指導している。 <p>(下校指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校周辺を中心に巡回指導を当番の教職員が2名で行っている。 <p>4 効果</p> <p>学校周辺において交通事故の報告もなく、生徒の安全が確保されている。今後は、本校生徒が地域の方から好感が持たれるように成長することを期待している。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	車体検査（バイク）	分類	その他の取組
取組の特徴	通学用バイクの定期点検		
学校名	大分県立日田林工高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 夏季休業中</p> <p>2 ねらい バイクの定期点検を受けることにより、登下校の安全性を確保する。</p> <p>3 活動内容 夏期休業中を利用して、バイク通学を許可されている生徒は、業者でバイクの定期点検を受け、報告書（学校所定の用紙）を生徒指導部に提出する。</p> <p>4 効果 整備・点検の意義を理解し、安全運転の意識が高まる。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	車体検査（自転車）	分類	その他の取組
取組の特徴	生徒自身が行う通学用自転車の自己点検		
学校名	大分県立日田林工高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 5月14日(火) 中間考査第一日</p> <p>2 ねらい 自転車の整備を進めることにより、登下校の安全性を確保する。</p> <p>3 活動内容 終礼後、担任・副担任立ち会いの下、生徒一人一人が自転車のブレーキおよびライトの点検を受ける。不備があるものについては、整備終了次第担任に報告し再点検を受ける。</p> <p>4 効果 自分の身は自分で守る意識を養う。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	生徒指導部の教員による自転車の安全点検	分類	その他の取組
取組の特徴	年度はじめに自転車通学生を対象に、点検項目を設定し、自転車の車両点検を行う。今後は、学期ごとの定期点検を行っていく予定		
学校名	別府溝部学園高等学校		
取組の概要			
<p>1 目的</p> <p>年度はじめ、自転車通学生を対象に、車両点検を実施する。点検項目を設け、自転車通学生が1年間、安全な走行ができるよう確認を行う。</p> <p>2 方法</p> <p>他県の実践校などを参考に、ブレーキ・ハンドル・ライト・サドル等、点検項目に従って、生徒指導部の教員により、詳細に点検を行う。</p> <p>それ以降も、昼休み等に定期的に駐輪場を見回り、整備不良の車両があれば、生徒指導部で車両を預かり、生徒に事情を尋ねるようにしている。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	定期考査中の教職員による下校指導	分類	その他の取組
取組の特徴	各定期考査中、早い時間に下校する生徒に対して、生徒の安全を確保するために、教員で分担し、下校指導を行っている		
学校名	別府溝部学園高等学校		
取組の概要			
<p>1 目的</p> <p>各定期考査の下校時、通常より早い時間に下校する生徒の安全確保および危険防止のために交通指導を行い、生徒が充実した家庭学習を行うことができるよう、指導をおこなっている。</p> <p>下校中の公共機関等でのマナーや、事故や事件（不審者等）の防止も目的としている。</p> <p>2 方法</p> <p>生徒指導部が、全教員を学校周辺の4～5ヶ所に割り振りをし、気になった事項について、報告を受ける。</p> <p>翌日、報告書を全教員に配付し、即時の指導に役立てている。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	登下校交通指導	分類	その他の取組
取組の特徴	指導部及び副担任による登下校交通指導		
学校名	大分高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 月曜日～金曜日までの毎日正門にて実施 (朝) 7:45～8:15 (放課後) 15:35～16:00 指導部と副担任で4人を1チームとして登下校の交通指導を実施。</p> <p>2 ねらい 登校時においては小・中学生との接触事故等を回避するための走行指導をし、一斉下校の下校時においては正門付近の混雑を緩和させる指導又登校時と同じく小・中学生等の歩行者との事故を防ぐことを目的としている。</p> <p>3 活動内容 正門前の信号を守らせることを徹底させることと左側路側帯一列走行を義務付けさせている。本校では保護者の送迎は学校付近の交通渋滞を防ぐ意図で学校敷地内での生徒乗り入れをお願いしている関係で学校敷地内に入る車両に生徒との接触等を防ぐ為に最徐行を呼びかけている。</p> <p>4 効果 登校時は特に大きな問題は発生していないが、下校時には正門付近の混雑が予想されるために、生徒が自主的に時間差下校を行うようになった。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車整備点検	分類	その他の取組												
取組の特徴	日田市自転車組合の方々による整備不良等の確認														
学校名	藤蔭高等学校														
取組の概要															
<p>1. 日時 7月10日(水) 10:00～11:00</p> <p>2. 目的 正しく整備された自転車を使用し、交通事故を未然に防ぐ。</p> <p>3. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日田市自転車組合の方々が発行した点検カードを確認し、合格、または不備の箇所にチェックを入れる。 ○ 生徒指導部が発行した点検カードを確認し、不備があった自転車への整備を促す。 ○ 1学期末までに改善をさせ、再度点検を行う。 <p>4. 点検項目</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. フレーム、前ホーク</td> <td style="width: 33%;">2. ハンドル</td> <td style="width: 33%;">3. ブレーキ(前後)</td> </tr> <tr> <td>4. ベル、ブザー</td> <td>5. リフレクタ</td> <td>6. ペダル</td> </tr> <tr> <td>7. タイヤ</td> <td>8. チェーン</td> <td>9. ディレーラ</td> </tr> <tr> <td>10. ライト</td> <td>11. 鍵</td> <td>12. 防犯登録</td> </tr> </table> <p>5. 実施後の状況</p> <p>89台点検を行い、33台の整備不良があったが、すべての自転車の再点検は完了することができた。事故を未然に防ぐためにも、乗り方やマナーだけでなく使用する自転車の安全性を高めるためにも継続した指導をしていきたい。</p>				1. フレーム、前ホーク	2. ハンドル	3. ブレーキ(前後)	4. ベル、ブザー	5. リフレクタ	6. ペダル	7. タイヤ	8. チェーン	9. ディレーラ	10. ライト	11. 鍵	12. 防犯登録
1. フレーム、前ホーク	2. ハンドル	3. ブレーキ(前後)													
4. ベル、ブザー	5. リフレクタ	6. ペダル													
7. タイヤ	8. チェーン	9. ディレーラ													
10. ライト	11. 鍵	12. 防犯登録													

交通安全教育報告書

取組名	登下校指導	分類	その他の取組
取組の特徴	主に交通量が多い通学路4ヶ所であいさつ運動を兼ねた交通安全指導		
学校名	藤蔭高等学校		
取組の概要			
<p>1. 期間</p> <p style="margin-left: 20px;">4月10日～12日（3日間）、5月7日～9日（3日間） 6月10日～14日（5日間）、9月3日～5日（3日間） 10月1日～3日（3日間）、11月11日～15日（5日間）</p> <p style="margin-left: 20px;">登校時 7：40～8：00（20分間） 下校時 15：40～16：10（30分間）</p> <p>2. 目的</p> <p style="margin-left: 20px;">朝、夕に生徒への声掛けをし、交通マナー、ルールの徹底をすることで、交通事故を未然に防ぐ。また、登下校の様子を観察。</p> <p>3. 実施後の状況</p> <p style="margin-left: 20px;">毎月実施しており、信号無視、自転車のルール（二人乗り、携帯電話、イヤホン等）を守らない生徒は皆無である。毎朝見守っていただいている交通指導員の方からも本校生徒のマナーの良さを継続してほしいという言葉をいただいた。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	自転車通学生に対する交通安全指導	分類	その他の取組
取組の特徴	本校高等部の初めての自転車通学生に対する交通安全指導		
学校名	大分県立由布支援学校		
取組の概要			
<p>【自転車通学に関する内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自転車通学に関する規則の決定（6項目） 2 自転車通学についてのお願（保護者記入） 3 自転車通学誓約書（保護者記入） 4 通学指導計画及び報告書の作成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 許可の前に実際に担任が通学指導を行う（登下校時に一緒に自転車で走行し、危険箇所や安全な通学路の確認を行う。 ○ その結果を保護者に報告し、最終確認をとる。その後、結果をまとめ生徒指導主任に提出。 ○ 定期的に自転車の点検を行うとともに、規則の遵守・通学状況を確認する。 			

交通安全教育報告書

取組名	安全な歩道や横断歩道の利用について	分類	その他の取組
取組の特徴	全面介助が必要な車椅子利用生徒の公道での移動について		
学校名	大分県立別府支援学校鶴見校		
取組の概要			
<p>1. 日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4月26日（金） 鶴見校より南立石公園への歓迎遠足 ○ 10月30日（水） 別府みらい信用金庫荘園支店へふれあい作品展見学 <p>2. ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全面介助を必要とする車椅子利用生徒が、交通量のある県道の歩道や横断歩道を利用して、安全に目的地まで移動する。 ○ 障害者用横断歩道信号の利用を体験する。 <p>3. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高等部生徒6名が全て車椅子利用の重度重複障がいを持つ生徒である。生徒達が校外の目的地まで歩道や横断歩道を利用して、安全に移動することを経験する。 <p>4. 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重度重複障がいを持つ生徒にとって、校外に出る機会が困難な状況にあるが、その中で交通安全指導の貴重な体験を実施することができた。 			

交通安全教育報告書

取組名	ホームルームでの全体指導と個別指導	分類	その他の取組
取組の特徴	生徒の実態・個に応じた指導		
学校名	大分県立別府支援学校石垣原校		

取組の概要

- ① 交通安全について、年度当初、ホームルームで全体指導を行い、その後個別に担当（担任）が生徒の実態・個に応じた個別指導を行う。
- ② 長期休業前にも、終業式後のホームルームで同様の指導を行う。
- ③ それぞれ、「学校生活を送る上での注意事項」・「夏休み中の生活について」・「冬休み中の生活について」・「春休み中の生活について」という 1 ペーパーをガイドラインとし、同文書は、休み中生徒に課す「日誌」の末尾にも掲載し、周知徹底を図る。

例（「夏休み中の生活について」より）

^{か き}夏季休業中^{きゅうぎょうちゅう}休業中は^{なつまつ}夏祭りやお盆^{ぼん}などもあり、^{がいしゅつ}外出する^{きかい}機会が増えます。

^{がいしゅつ}外出する^{とき}時は^{こうつう}交通ルール（^{ほこう}歩行の際の^{さい}右側通行、^{みぎがわつうこう}横断歩道の^{りよう}利用、^{こうつうしんごう}交通信号を^{まも}守るなど）をもう一度よく^{いちど}確認して、^{かくにん}事故に^{じこ}遭う^あことのないよう^{じゅうぶん}十分に^き気をつけましょう。

交通安全教育報告書

取組名	登下校指導（スクールバス）及び自力下校指導（JR、路線バス）	分類	その他の取組
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス内での実態把握をする。 ・路線バス停や駅での過ごし方の指導をする。 ・路線バスやJR車内での状況を観察して、課題の把握をする。 ・一人一人の課題への改善に役立てる。 		
学校名	大分県立竹田支援学校		
取組の概要			
<p>【スクールバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期始めにスクールバス（登下校）へ乗車し、座席の位置や車内での過ごし方について問題がないか確認をした。 ・児童生徒に「バス内でのマナー」について話をした。様々な場面で、あいさつについて呼びかけをしていることで、徐々に乗降の際、運転手、介助員、友だちにあいさつが定着しつつある。 <p>【JR、路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初は担任及び学部の教師が同行して安全指導をした。 ・JRや路線バスと一緒に乗車し、利用の仕方や車内でのマナー（荷物の置き場所、駅構内やホームでの飲食など）を指導した。 ・利用回数を重ねながら、徐々に見守り指導に切り替え児童生徒の様子を観察した。 → 5月下旬には、自力下校につなげることができた。 ・天候悪化による早めの対応 → 関係機関を通して早期からの情報収集及び保護者への連絡 ・2学期に再度、JRやバスに乗車して現状を把握し、一人一人の課題改善につなげた。 			